

戦評

大会名 平成28年度第69回青森県高等学校総合体育大会バレーボール競技

日時 平成28年6月4日～6日

会場 青森県武道館ほか

女子決勝（6月6日）

弘前学院聖愛高等学校 2 $\left\{ \begin{array}{l} 25-16 \\ 25-18 \end{array} \right\}$ 0 青森西高等学校

ファーストレフリース

川村陽平

セカンドレフリース

黒滝昭弘

決勝は12年連続18回目の優勝を目指す弘前学院聖愛高校（以下聖愛）と、18年ぶりの14回目の優勝を目指す青森西高校（以下青森西）の対戦となった。

第1セット序盤は、青森西の磯野、岡本のスパイクが決まり青森西リードでゲームが始まる。聖愛も鈴木を中心に加点していくが、青森西の粘り強いレシーブで思うように差を詰めることができない。中盤に入り、聖愛は相馬を中心に加点していき同点に追いつく。青森西榊田のスパイクが随所で決まれば、聖愛も佐々木のスパイクが決まり一進一退の展開。聖愛のブロックとスパイクが連続で決まり、18-16聖愛リードで青森西1回目のタイムアウト。しかし、聖愛の流れは止まらず、青森西が2回目のタイムアウトをとるが、聖愛は帯川葵、佐々木の攻守にわたる活躍と鈴木の子バで合計10連続得点を重ね、25対16で第一セットを聖愛が先取する。

第2セットは聖愛相馬、青森西磯野のスパイクがそれぞれ決まり、シーソーゲームが展開される。青森西が岡本のスパイクでリードを奪えば聖愛も鈴木の子バで譲らない。両チームともディグが非常によく、締まった展開でゲームが進んでいくが、聖愛佐々木の連続ポイントで聖愛がリードを奪い、10対8で青森西が1回目のタイムアウト。青森西も榊田と磯野のスパイクが決まり差を詰めようとするが、聖愛も相馬が着実に加点していき聖愛リードでゲームが進行する。両チームとも長所を出し加点していくが、青森西のミスが連続で出て19対14で青森西が2回目のタイムアウト。青森西は持ち味のディグからのサイド攻撃で差を詰めるが、聖愛もブロックとディグが有効に機能し、相馬を中心に加点していき聖愛リードでゲームが進行する。青森西も粘ったが、最後は聖愛奥田の子バが決まり25-18で聖愛が12年連続18回目の優勝を決めた。

戦評者 村元直記